

街並みテクテク No.27 根岸駅～横浜駅 (2026-6-21)

参加者：碓貴臣、後藤幸子、佐熊範和、染谷ミドリ、高野泰三郎、山岸仁・美奈子 (夫妻)、木村芳一 (敬称略；計 8 名)

行程：根岸駅～横浜駅 約 7km

根岸駅→柳下邸→三溪園→本牧市民公園→八聖殿・郷土資料館→横浜駅 (懇親会)

- ・歩き始めてしばらくしてから少し雨が降り出しましたが、その後晴れ上がりました。
- ・横浜市指定有形文化財・根岸懐かし公園旧柳下邸は、銅鉄引取商・柳下氏が大正時代に建設したものです。東館、西館、洋館、蔵から構成され、昔懐かしい、長い廊下、柱時計、掘りごたつ、五右衛門風呂などが設けられ、また欄間の細工、天井の透かし彫り、明かり障子、照明の傘などに特色が見られました。
- ・旧柳下邸見学後、三溪園に向かって歩き始めましたが、小雨が降っていることもあり、途中でバスに乗り、停留所「本牧」で下車し、三溪園に向かいました。
- ・三溪園は、明治から大正にかけて製糸・生糸貿易で財をなした原三溪氏が東京湾に面した谷あいの地に造ったものです。外苑と内苑の二つの庭園からなり、内苑には三溪の私邸・白雲邸があり、それ以外の内、外苑の庭園内に京都、奈良、鎌倉等から移築された歴史的建造物が配置されていました。全体的に良好な景観を楽しめましたが、中にはそこにあるのが不自然なものもありました。
- ・八聖殿は政治家・安達謙蔵氏の別荘であったものです。1階の展示室では、昭和 50 年までに横浜沿岸が埋め立てられる前には、本牧、根岸海岸はきれいな海で、海産物に恵まれていたということが示されています。現在は製油所関連の設備が広く設けられ、極めて残念な景観です。2階展示室には、八聖人像、古民家、農具等が展示されていました。係員の熱心な解説でよく理解できました。

(木村芳一)



根岸駅前にて



高台にある柳下邸



三溪園内苑の亭榭、臨春閣を望む



三溪園・臨春閣



三溪園・旧燈明寺三重塔



緑に包まれる三溪園・聴秋閣



本牧市民公園で一休み



苦勞して上った八聖殿・郷土資料館